

令和2年2月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和2年2月25日(火)午後2時00分開会
午後3時15分閉会
三田市役所 南分館 601会議室

○議事日程

日程第1	開会	
日程第2	前回会議録の報告、承認	
日程第3	会議録署名委員指名	
日程第4	会期の決定	
日程第5	教育長の報告	
日程第6	議事	議案第3号から第4号
日程第7	報告事項	報告第3号から第5号
日程第8	その他	

○会議に出席した委員（5名）

1番	鹿嶽昌功	2番	吉田礼子
3番	田口文夫	4番	三木尚美
5番	中上之仁		

○説明のため出席した者（8名）

学校教育部長	岡崎正文	学校教育部次長	外岡明文
教育総務課長	浅野晋司	学校教育課長	山本直也
教育研修所長	村岡智行	学校給食課長	宮城信之
学校教育課参事	吉田裕彦	教育総務課参事	上野樹

○代表学校長（2名）

中学校校長会代表	西村篤巳
小学校校長会代表	福井加寿子

○会議に関係した事務局員（2名）

教育総務課	寺嶋晶子
	藤本真

○会議録署名委員

教育長	鹿嶽昌功
教育委員	三木尚美

日程第1 開 会

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ただいまから令和2年2月第247回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

日程第2 前回会議録の報告、承認

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長
(浅野 晋司)

(令和2年1月30日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ご質問等ございませんでしょうか。
なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、会議録署名委員指名に移ります。
会議録署名委員は、4番 三木 尚美 委員にお願いします。

日程第4 会 期 の 決 定

○教育長
(鹿嶽 昌功)

会期は本日一日、令和2年2月25日火曜日午後2時00分開会といたします。

日程第5 教 育 長 の 報 告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

3学期も残すところ約1か月となってきました。各校では、本年度のまとめと新年度に向けた準備、そして卒業式への対応と忙しい時期ではありますが、インフルエンザへの心配もそうですが、連日のように新型コロナウイルスによる感染症のニュースが報道されています。昨日の専門家会議でも、これからの1・2週間が拡大するか収束できるかの瀬戸際としています。かぜなどの症状が出た場合は外出せず自宅での療養をお願いしているところです。37.5度以

上の熱が4日間以上続く場合や、強いだるさや息苦しさがある場合は、都道府県の相談センターに連絡してほしいとしていますが、症状がなくても、対面で一定時間会話するような多くの人と交わる、そのような環境は避けるべきとしています。教育機関にも適切な対応を求めているところですが、国等からの情報とともに、日々の健康管理、体温チェックや、手洗い・消毒、せきエチケットの徹底など、対策に努めているところです。今後、兵庫県の状況や三田市の対策本部会議の方針も含めて、大きな対策が必要となることも想定しながら、年度末の学校運営が適切に図れるよう、対応していきたいと思っています。一日も早い収束を願っているところです。それでは、前回1月30日以降の取り組みについて報告いたします。

1 高校生議会(2/2)

2月2日日曜日に第5回目の高校生議会が市議会議場で開催されました。今回はひまわり特別支援学校高等部の二人も含めて、20人の高校生が質問してくれました。このひまわり特別支援学校の二人の質問ですが、一人は「将来の夢の実現について」ということで、「これから社会に出ても『ホテルに泊まる』『飛行機に乗る』『フランス料理を食べる』そんな夢であっても、叶えるためには支援が必要となる。そんな『夢・お手伝いバンク』のような仕組みがあればうれしい。」という質問でした。市長からは、「『共に生き、互いを尊重し、応援し合える社会』づくりをめざしている。市役所、市民のみなさん、団体や事業者の皆さんが協力し合える取り組みを進めていきたい。」という答弁でした。またもう一人は「みんなが繋がる社会について」という質問で、「ひまわりでは、卒業後もたくさんの人とつながっていきたくないので、『からだの学習』や『言葉の学習』をがんばっている。障害のある人や支援が必要な人などみんなが集まれる居心地の良い場所が地域があればいい。」といった質問でした。市長からは、「今、三田市では『共生社会推進プログラム～障害のある人とともに』という取り組みをスタートさせ、障害のある人もない人も自分らしく社会参加できる優しいまちをつくる取り組みを進めています。議員の提案された『誰もが繋がれる場所』づくりを積極的に応援して行きます。」と答弁されました。二人とも、本当にしっかりと質問できていました。二人には、高校生活の中での本当に大きな経験の一つとなったのではないかと思います。そのほか、教育委員会には、小中学校からの主権者教育、地域スポーツクラブと中学校部活動の関係、地域人材の協力による高校受験の支援、子どもたちの学習意欲を高める取り組みについての4点の質問がありました。実際に小中学校を経験してきた高校生の純粋な気持ちからの質問です。真摯に受け止め、まちづくりにも役立

てていかなければならないと思っています。

2 祥雲&こうみんサイエンスカフェ（2/9）

2月9日、ウッディタウン市民センターで、サイエンスカフェが開催されました。祥雲館高校と三田市のこうみん未来塾のコラボ企画として、毎年開催いただいております。今年も夏の理科作品展で川本幸民賞を受賞した小中学生が研究の取り組みを舞台発表とともにパネル発表でもしてくれました。また、祥雲館高校科学部の皆さんのポスターセッションなど、生徒たちの主体的な探究活動の様子がよくわかる発表会でした。

3 第10回日本語スピーチ大会（2/11）

2月11日、まちづくり協働センターで第10回目の日本語スピーチ大会が開催されました。この大会は、国際交流協会主催で、多文化共生の実現に向けた、相互理解・相互交流の場として開催される「国際交流DAY2020」の取り組みの一つとして実施されました。三田市在住の外国籍の皆さんが、日本での生活などを日本語でスピーチされるものです。今回は、日本語学習の期間が比較的少ない皆さんが多かったわけですが、ユーモアを交えた楽しいスピーチを聞かせていただきました。8人の皆さんのスピーチで、グランプリは、日本語を学んで2年のベトナムから日本に来て働いておられる女性でした。短気な性格の彼女が、三田の工場で働く中で、作業上でのミス等があっても怒られず丁寧に指導してもらっているうちに、自分の性格も変わっていったというお話でした。ほかにも、楽しいお話も聞かせていただきましたが、参加された皆さんもこれを機会に、三田での日本での暮らしをより一層楽しんでいただきたいと思います。

4 令和元年度教育研究グループ研究交流会（2/13）

2月13日、総合福祉保健センターホールで、今年度の教育研究グループの研究発表がありました。算数・数学、社会、造形教育、外国語、国際理解教育、特別支援教育の6つのグループに発表いただきましたが、各学校での研究推進とともに、こうした教科ごとの研究の積み重ねが、三田の教育を支えていることを改めて感じたところです。発表のあと、関学の佐藤先生の講演がありましたが、私は次の祥雲館高校の用務があったため、途中で失礼させていただきました。

5 第2回三田祥雲館高等学校SSH運営指導委員会（2/13）

2月13日、教育研究グループの発表会に続き、祥雲館高校で開催

されたSSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)の運営委員会に出席してきました。平成29年度からの5年間の第2期指定の中間年の取り組みの報告と、後半2年間の方針に対する意見交換が行われました。「挑戦し続け、世界に突き抜ける科学技術系人材の育成」に向けて取り組まれており、生徒自身もその探究意欲が非常に高く、そのように主体的に活動できるように仕向けるシステムができていたように感じました。先ほどのサイエンスカフェなど、三田市との連携や小中学校の児童生徒を対象とした科学教育への取り組みも成果を見せており、今後もより一層連携していきたいと思えます。

6 令和2年3月三田市議会定例会(2/18)

2月18日に、令和2年3月三田市議会定例会が開会いたしました。今定例会は、令和元年の条例議案や補正予算案、そして令和2年度の新年度予算案を中心に審議されるものです。開会当日の総括質疑では、今定例会に上程しておりました、三田市あすなろ教室設置条例についての質問がありました。条例による規定を行い、保護者・市民の皆さんにも広く周知するとともに、昨年文科省通知の趣旨に沿った運営と施設整備の充実に取り組んでいきたいと答弁したところです。また、2月20日には福祉教育常任委員会でも、けやき台中学校の大規模改修2期目の前倒し補正等の審議、及び上記あすなろ教室の条例案について説明をしたところです。3月の5日6日と一般質問が予定されているところですが、保護者や市民の皆さんにもご理解いただけるよう、丁寧に答弁してまいりたいと思っております。

私からの報告は以上です。

日程第6 議 事

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、本日の議事に入ります。

(1) 教育委員会規則及び教育委員会規程の制定又は改廃を行うことについて学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更することについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第11号・第16号】

議案第3号「三田市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長
(浅野 晋司)

議案第3号「三田市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について」事務局から説明。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

「しおかけばし」自治会を校区一覧に追加することになります。児童たちは、今まで通り学校に通学をするわけで、何かを変更することはありません。

ニュータウンは、番地で校区を分けています。将来的には、地区か地番どちらかに統一して校区を示す方がいいかと思いますが、それぞれに問題点があり、検討が必要になってくると思います。

何かご質問、ご意見等ございますか。

なければ、このように承認します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

(2) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ることについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第12号関係】

議案第4号「令和元年度一般会計3月補正教育予算案(追加)に関する教育委員会の意見の申し出について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長
(浅野 晋司)

議案第4号「令和元年度一般会計3月補正教育予算案(追加)に関する教育委員会の意見の申し出について」事務局から説明。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

3月の市議会はずでに始まっていますが、GIGAスクール構想、小学校の特別教室空調設備工事については、今年度に国庫交付金が出ることになり、また、けやき台中学校の大規模改修工事については国庫交付金の追加交付がありました。そのため補正予算案を追加で行い、全額翌年度に繰越することになります。

何かご質問、ご意見等ございますか。

○教育委員
(田口 文夫)

4ページの補助対象外の地域イントラネットとは、どの地域をさすのでしょうか。

○教育長

三田市内の市が関係している公共施設、全小中学校を通信ネットワ

(鹿嶽 昌功)

ークでつないでいる有線を地域イントラネットと言います。

○学校教育部次長
(外岡 明文)

学校ごとに直接インターネットを繋いでいるのではなく、市が集約して、整備した通信ネットワークを使用しています。市が集中管理をして、ウイルス対策、データ管理などを行っているネットワークです。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

学校で40人ほどが端末を使用する時は問題ありませんでしたが、GIGAスクール構想で、端末が整備され約9000人が一度に利用することになると、現在の通信環境では、機能しなくなりますので、通信ネットワーク整備を強化する必要があります。
国庫負担金(1/2の補助)の活用と市の予算で令和2年度中にネットワーク整備を進めていくこととなります。全小中28学校に同じ整備をする計画で予算要求をしていますが、大規模校と小規模校で同じ容量のLAN整備が必要になるかという点と少し検討する必要があります。学校のネットワーク整備をすすめるには、地域イントラネットの強化をしないといけないのですがこれが補助対象外になるというのが少し腑におちないところです。

○教育委員
(田口 文夫)

三田市だけでなく、全国一律と言うことでしょうか。

○学校教育部次長
(外岡 明文)

全国すべて、地域イントラネットは、補助対象外になっております。丹波篠山市とも連絡を取り合っていますが、丹波篠山市も三田市と同じだということです。

○教育委員
(吉田 礼子)

あと少し気になるのですが、各教室にLAN整備をするときに、すでに整備されているネットのLANは必要なくなるのではないのでしょうか。撤去するのでしょうか。

○学校教育部次長
(外岡 明文)

現在あるものはそのまま置いておく方向で検討しています。現在の線の横に新しくLANを引くか、今あるLANを利用して工事するか検討しています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

最初に数校、LANを整備した後に、全小中学校に1ギガのLANを整備しましたので、今回整備すると3本のLANが並列されることになるかもしれません。

○教育研修所長
(村岡 智行)

全小中学校の各教室にすでにLANの整備工事はされていますが、現在あるLANを利用して増強するか、大規模校など現在のLANの利用が難しい時は、新規に整備する必要があるかもしれません。学校規模に合わせた工事を検討しています。

○教育委員
(吉田 礼子)

光ファイバーが整備されているのですよね。

○学校教育部長
(岡崎 正文)

その通りです。全部新規に整備をするのではなく、小規模校では生徒の数が少ないので現在のLANを利用できると思います。大規模校になると容量がオーバーすることが考えられますので、容量の多いLANを整備することになります。

○教育委員
(吉田 礼子)

児童、生徒の端末整備の予算については分かりましたが、先生たちの端末は、国からの補助金は出るのですか。

○教育研修所長
(村岡 智行)

教員たちの端末については、国からの補助金は出ません。子どもたちに整備されて、教員に整備されていないということはできませんので、どの様な形で整備するか検討中です。

○教育委員
(吉田 礼子)

児童、生徒たちだけに整備されて、先生たちに整備されていないと授業になりません。来年度に予算要求をして、整備するのですか。

○学校教育部次長
(外岡 明文)

令和2年度の6月か9月の補正予算で要求したいと考えております。出来るだけ早く整備したいと思っておりますので、6月にできればと思っています。

○教育委員
(吉田 礼子)

子どもたちより先に整備して、先生たちに端末を使いこなしていただくなくてははいけませんのでよろしくお願いします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

空調設備と同様に、LAN整備工事も、全国全ての学校で一斉に始まりますので、入札できるかどうか不安な面はありますが、出来るだけ早く入札通知を出し、工事をしたいと考えています。令和元年の予算を令和2年に繰越をしてする事業ですので、令和3年度に繰越することはできませんので、令和2年度中に工事を終える必要があります。

○教育委員
(吉田 礼子)

地元業者が整備できるような工事ではないのでしょうか。

○学校教育部次長
(外岡 明文)

難しい面があります。LANを整備する作業は出来ると思いますがLAN整備の設計や組み立てる部分で市内の業者では難しいと思われる。

○教育委員
(吉田 礼子)

この工事で市内業者には恩恵がないということですね。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

下請けや、共同事業体として市内の業者も参加すると思いますので全く恩恵がないということにはならないと思いますが、現時点では正確なことについては未定です。

他に何かご質問、ご意見等ございますか。

なければ、このように追加提案の意見の申し出をいたします。

日程第7 報告事項

それでは、報告事項に移ります。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

報告第3号「令和2年度当初予算の概要について」事務局から説明をお願いします。

○学校教育部次長
(外岡 明文)

報告第3号「令和2年度当初予算の概要について」事務局から説明。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

令和2年度も、なかなか厳しい財政状況ですが、予算全体としては、未来につなぐということで、修繕が学校だけではなく、他の公共施設や、道路などインフラに大きくシフトしています。施設の修繕に力をいれて、学校もこれ以上修繕をしないわけにはいかない状態になっていますので来年度の予算を大きく取った形です。ただ、通常の学校運営費の予算は削られたままですが、図書購入費については、増えています。
何かご質問、ご意見等ございますか。

○教育委員
(吉田 礼子)

学校からの要望はどうなっていますか。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

学校からは、常に修繕の要望があります。すずかけ台小学校、学園小学校については、来年度の予算がついていますが、他の学校についても、これから数十年使用する施設となりますので、修繕が必要になってくると思います。前にも言いましたが、学校運営費は削られていますので、学校現場は、厳しい状況が続いています。

○教育委員
(田口 文夫)

三田市のわかりやすい予算の2ページのところですが、「次世代につなぐまちづくり予算」はいいキャッチフレーズだと思いますが、「人口減少にも負けないまちへ」についての文言は、負けないという表現はすでに負けているという感じがします。表現は変わることはないと思いますが、もう少し、表現の仕方を考えてほしいと思います。人口減少の推計は、確か8万人だと記憶していますがどうでしたか。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それについては、変更はありません。現在は、元の人口ビジョンよりももっと、減少しています。

○教育委員
(田口 文夫)

三田市の人口の動きを見ていると人口減少が続いています。市の魅力が必要だと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

郊外志向から、現在は都心回帰がおきています。また、日本の人口減少がおきているなかで、市長の考え方は、現在住んでいる三田市民に対して、どれだけの施策を打ち出せるかということに重点を置

いています。三田市の人口流出を止め、その施策を三田市以外の方が、魅力的に思って三田市に住んでもらうことが望ましいと考えています。

○教育委員
(田口 文夫)

阪神7市1町の人口は、数年前の172万人から175万人に増えています。尼崎市、西宮市、伊丹市、宝塚市で人口増が見られます。逆に、三田市はこれまで人口は増加していましたが、近年は減少傾向にあります。三田市をもっと魅力的で住み続けたい都市とアピールする諸施策が必要です。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

以前から思っていたのですが、まちづくりの評価が、人口推計だけで終わっているように感じます。人口だけでまちの評価の基準にするのではなく、そこに暮らしている人々が、どの様に考えて生活をしていくのかと言うことをまちづくりの基準にすることが、人口減少を抑え、人口増加につながっていくことになると思います。

○教育委員
(田口 文夫)

三田市は、交通の便が良く自然豊かで、文教施設の整備された教育水準の高い魅力のある都市です。ぜひ、人口増加につながる施策をお願いしたいと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他に何かございますか。
ないようでしたら、これにて報告とさせていただきます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

報告第4号「学校医の解嘱と委嘱に係る専決処分の報告について」事務局から説明をお願いします。

○学校教育課長
(山本 直也)

報告第4号「学校医の解嘱と委嘱に係る専決処分の報告について」事務局から説明。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければ、これにて報告とさせていただきます。

○教育長

報告第5号「3月教育委員会開催行事予定について」事務局から説

(鹿嶽 昌功)

明をお願いします。

○教育総務課長
(浅野 晋司)

報告第5号「3月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければ、これにて報告とさせていただきます。

日程第8 その他の報告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、次回、3月の教育委員会定例会の日程について事務局からお願いいたします。

○教育総務課長
(浅野 晋司)

3月教育委員会定例会の開催日時は令和2年3月26日(木)午後2時00分から、南分館601会議室で予定しております。
よろしくをお願いいたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、各校長からの報告です。
中学校校長会代表、小学校校長代表より報告をお願いいたします。

○中学校校長代表
(西村 篤巳)

○バス利用に係る通学の安全と学校生活の時程の確保について
バスのダイヤ変更に関連し、児童生徒への通学の安全・安心への対応、ありがとうございます。バスの運行時刻が改定される見込みで、学校の時程に少しでもゆとりがもてそうです。引き続き児童生徒が安心・安全に過ごせる環境づくりに努めていきますので、ご協力をお願いいたします。

○入学説明会の実施について

1月中旬から2月上旬にかけて、各中学校で、小学校6年生とその保護者を対象に「入学説明会」が実施されました。この数年では当たり前のように実施されている「小学校6年生対象授業体験」ですが、5、6年前から比べると小中連携の取組がより推進されてきていると感じます。

○進路関連について

2月10日を中心に私立高校の入試、2月17日は公立高校の推薦特色選抜入試が実施されました。2月22日、土曜日ではありましたが、午後2時から結果の発表があり、中学校各校で、発表の確認の対応や不合格となった生徒や保護者への対応が一部ありました。出願時に一部混乱がありましたが、入試日や可否等に係る事案では今のところはトラブル等を耳にしていません。

もともと不合格の場合の次の段取りも含めて、進路指導をしていますが、不合格を受けて不安になり、進路変更を希望する生徒や保護者があります。その場合にも、まず、次へ向けて頑張ろうとする気持ちを持たせ、それで進路変更を希望される場合には、丁寧に個々に応じて対応しています。

○卒業証書授与式について

3年生が、公立高校の一般入試を前に3月11日に卒業証書授与式を迎えます。義務教育9年間の集大成、有終の美を飾れるように最後までしっかり取り組みます。また、東日本大震災から9年目となり、緊急速報メールの一斉配信訓練対応で開始時刻を遅らせて対応します。諸々の市教委の対応に感謝します。三田市の子ども達として、温かく見守っていただきますよう、よろしく願いいたします。

○新型コロナウイルス対策について

現在新型コロナウイルスに係る、発症した生徒への対応、感染予防対策等が市教委から出されています。この件は、国の動向を見ながら、速やかな対応が求められており、中学校での部活動の対外試合卒業式等への問い合わせもあります。具体的な対応策が必要となった際、早期の指示や連携等をお願いいたします。

○小学校校長代表 (福井 加寿子)

○学年末を迎える子どもたちについて

この時期になりますと、どの学年でも1年間の成長を振り返ったり来年度への意欲を高めたりする学習活動が見られます。「こんなことができるようになった」「こんなに大きくなった」など、進級・進学は子どもたちにとって大きな節目です。先週、本校の学習参観では1年生が『今年上達した得意技 発表会』をしていました。なわとびを披露する子、黒板に大きく漢字を書く子、けん玉をやってみせる子と、実に様々な得意技がありましたが、参観している保護者の拍手をもらって、みんな、はにかみながらも得意そうな表情でした。また、5年生は『6年生を送る会』の企画・運営や卒業式の練習・準備などを通じて、最高学年への自覚と自信を持たせる指導

を進めています。一方、卒業・進学・進級を前に、期待とともに不安感を強める子どもも多くなります。学年に関わらず、登校渋りや不登校傾向の児童が目立つ時期でもあります。子どもたちが自信を持って安定した気持ちで新年度に臨めるよう、しっかり指導・支援していきたいと思います。

○学校評価について

今、各校では、この一年間の学校運営や教育課程の取組を振り返る学校評価を行っています。教職員による内部評価や学校関係者評価をもとに、本年度の成果と課題を明らかにしています。本年度は、新学習指導要領のスタートに伴う授業改善とともに、『授業時数の確保』と『教員の働き方改革』が大きな課題です。例えば行事の精選については、家庭訪問の実施方法について、改善案が多くの学校で検討されています。また、小学校では来年度から3日間の夏季休業日短縮が実施されます。初年度となる小学校では、これを教育課程編成上どう活用するか、教員の多忙化の軽減にどうつなげるか、中学校での先行実施も参考にさせていただき、しっかり検討していきたいと思います。本年度もいよいよ残りわずかとなっていましたが、引き続き、ご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

○教育長 (鹿嶽 昌功)

その他何かございませんか。

それでは、以上をもちまして本日の教育委員会定例会を閉会いたします。